

令和5年度第50回人権・同和問題地域懇談会

4年ぶりに開催した第50回人権・同和問題地域懇談会（以下、地域懇談会）は、10月2日～11月5日の日程で町内34行政区33会場で行い、DVD視聴と懇談という形式で行いました。今年度のテーマは「高齢者の人権」で、7月に開催した市民講座と関連した形となり、継続して町民の皆さんと考えることができたのではないかと思います。

DVD・懇談会の内容

DVD「ここから歩き始める」は、認知症の親をもつ主人公とその家族の中で、繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなのつむぎ直しを描いた内容でした。介護する側だけでなく、介護される側の気持ちや人としての尊厳と言う点に注視したものでした。介護は嫁の務めといった女性差別、介護休暇や育児休暇を男性が取得しにくいといった社会問題なども盛り込まれていました。

また、地域で支える認知症サポーターについても気づきのひとつとなり、地域で見守ることの大切さに気づくきっかけになったと感じました。今回は地域懇談会の中で「ユマニチュード」（人間らしい介護姿勢）の動画を視聴して頂き、一様に興味深く視聴され、ユマニチュードをもっと知りたいなど、たくさんの反響がありました。



参加状況について

今回の地域懇談会の参加者は399名で、前回より27名減でした。

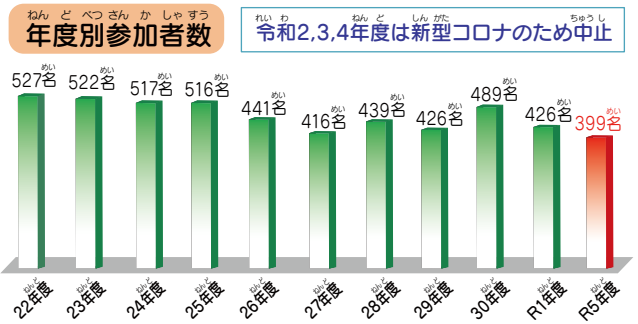
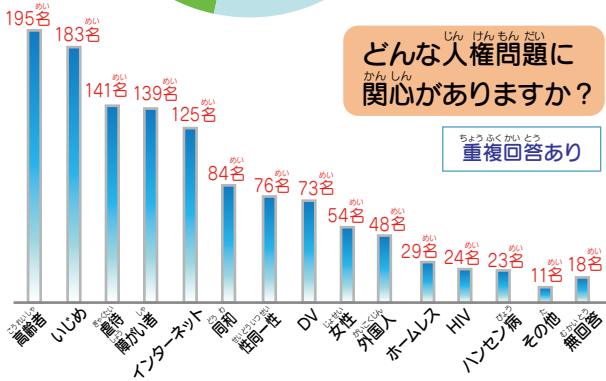
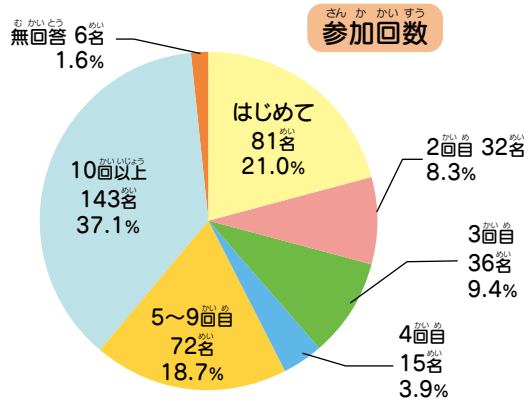
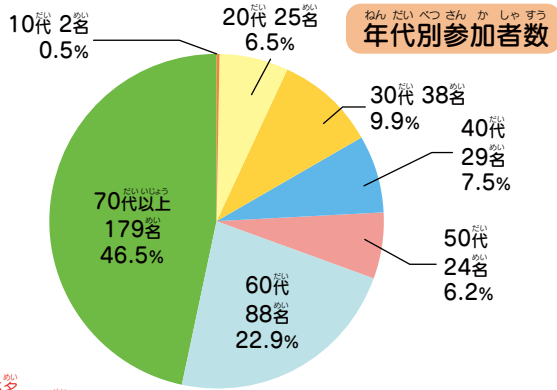
アンケートについては、385名から回答がありました。年代別参加者は70代以上が179名（46.5%）で60代が88名（22.9%）、50代以下では118名（30.6%）となっています。

参加回数では4回以上が230名（59.7%）、3回以下149名（38.7%）でした。このうち初めての参加者が81名（21.0%）でした。また、「高齢者の人権について学習したい」と事前に参加希望された介護施設の職員や実際に福祉の現場で働かれている方の参加が多く見られました。

7ページにアンケート集計結果を掲載

令和5年度 第50回人権・同和問題地域懇談会 アンケート集計結果

●開催期間 令和5年10月2日～30日 11月5日
 ●参加人数 399名
 ●アンケート提出者 385名
 ●開催場所 34行政区 33会場



～アンケート紹介～

- 初めて参加させて頂きました。私はまだ介護の経験はないので実際に介護を経験した方の話や地域の人との話が聞けて、貴重な時間になりました。ありがとうございました。(20代)
- 身近な問題で良かったです。お互いが理解できることで、かわり方が良い方向へ向かうと思います。介護はほんとうに大変ですが思いやりと認知症の理解があれば良くなるのでは・・・(70代以上)
- 活発な意見ができました。相手についての思いやりの大切さを大事にする事を知る！これから自分の将来を考えてみた時今のうちから人に迷惑にならないようしっかり対応していくことを考える。まず健康になるための第一歩”歩こう!!”挑戦!!ありがとうございました。(70代以上)
- 今回懇談会の中でDVDの内容も参加者による意見もとても印象に残った。DVDの中では、ハッピーエンドで終わったが、意見にあったように家族にしか分からない大変さがたくさんあると思う。祖父母はまだ家で元気に生活しているので、もし認知症になったら・・・と考える時間となった。(30代)
- 高齢者(認知症)の人権についてすこしわかった気がします。実際に出来るか出来ないかはその時の状況で変わって来ると思います。ユマニチュードも同じで理想的な介護の方法だと思います。今回は高齢者の人権で自分の事として考えられたが、同和問題だと・・・できるかな！心配。大変勉強になりました。(60代)

アンケートについては、できるだけ原文のまま掲載しています。

せい か
成果

こう れい しゃ じん けん じ ぶん ごと かんが
「高齢者の人権」は自分事として考えられたテーマでした！

がつ し 市民こうざ じんけんこうえんかい
7月の市民講座「人権講演会」からつながった「高齢者の人権」でした。「介護」や
にん ち しょう だれ かの かか う ひ と ごと じ ぶん
「認知症」は、いつかは誰もが抱えることになり得ることであり、他人事ではなく自分
ごと こと とら
事として捉えることができたのではないのでしょうか。

にんげん かい せ し せい どう が み
「ユマニチュード」という人間らしい介護姿勢の動画も観ていただいたことで、さら
に「人としての尊厳」をも考えられる内容となったのではないかと思います。「心に
のこ 残った」などの意見が皆さんからのアンケートにたくさんありました。

かい め わか ち いき こんだん かい と けい はり すす
50回目を迎えた地域懇談会、しっかりと時計の針は進んでいます！

「もういいんじゃないか」「差別はなくなった」「いつまで続けるのか」という意見も
ありました。残念ながら、インターネット（SNS）などに姿を変えて未だに差別事象
はあります。

じんけん どう わ もん だい はしら ど けい とら はしら ど けい ふ こ おな う ぎ
人権・同和問題を柱時計と捉えてみました。柱時計は振り子がずっと同じ動きをし
ています。しかし、しっかりと時を進めています。同じようにこの地域懇談会も50回
つづ っ つ ちやうみん みな じんけん い しき すす
続いてきました。それだけ、町民の皆さんの人権意識が進んでいる（高まった）とい
うことです。

か だい
課題

かず おお じん けん もん だい じ ぶん ごと かんが
数多くある人権問題をいかに自分事として考えることができるか…

がいこくじんもんだい びやうもんだい しょう しゃもんだい どう わ もん だい と き じ ぶん ごと
外国人問題やハンセン病問題、障がい者問題や同和問題などのテーマの時、自分事
として考えることができるのか…大きな課題です。そのためには、この地域懇談会を
とお せいかつ みつちやく ほうほう けんとう かい
通して、明日の自分たちの生活に密着したテーマや方法を検討することが、今後の桂
せんまち か
川町に課せられています。

まずは、関心をもちましょう。

じん けん い しき はり すす たか なか ま ふ
人権意識の針を進める（高める）仲間を増やすこと！！

ながねんつづ ち いき こんだん かい じんけん い しき すす たか なか ま ひとり ふ
長年続けてきた地域懇談会で、人権意識を進める（高める）仲間を一人でも増やす
ことは大切なことです。地域懇談会に参加した方が、ご近所の方や友だちなどに声か
けしていただくことも大きな力となります。町として、町民の皆さんと一緒に人権・
どう わ もん だい じ ぶん ごと かんが ち いき こんだん かい め ざ じんけん ぶん か
同和問題を自分事として考えられる地域懇談会を目指して、「人権文化のまちづくり」
につなげたいと思います。